

平成30年美濃加茂市議会第3回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質 問 要 旨
1	酒向信幸 創政会 代表質問 (一問一答)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>① 市長就任から半年が過ぎ、また新年度より高橋副市長を迎え新体制にもなった。新年度に掲げた施政方針を基本に市政運営されてきたが、改めて今の美濃加茂市をどう思うか</p> <p>② 基本施策(4つの重点項目)「活力」「安心」「教育」「交流」に基づいた事業が着々と進む事業もあり順調かと思うが、今後は来年度の予算編成へと入っていく。今一度4つの重点項目に対する考えは</p> <p>③ 来年度で第5次総合計画が終了する。10年後のあるべき姿「まあるいまち みのかも」としたみんなの総合計画を自ら見て来られた中で、次の第6次総合計画ではどのような将来の美濃加茂を想像しているか</p> <p>④ 感謝「ありがと」と言えるまち、誇り「美濃加茂」と言えるまち、持続「孫子の代まで住み続けられる」まち、と大切にしたい3つのことから夢と誇りある美濃加茂を目指しているが、就任され5ヶ月だが、美濃加茂市がどうみえたか</p> <p>2 市内の断水について</p> <p>① 6月29日に飛騨・中濃地方など広い範囲で大雨となった。この大雨の影響で飛騨川の水質が悪化し、市営の森山浄水場は飛騨川からの取水を停止し、下米田・牧野全域、太田・古井地区の一部が断水となった。断水になった経緯となぜ一部の地域が断水となったのか</p> <p>② 今回の断水での課題について、今後の対策は</p> <p>③ 井戸水を使用されている世帯があり飲料水では使用できないがトイレ・洗濯等に使うことは可能であったが、水がないことで本当に困った。井戸マップを作成し、災害時の協力井戸として有効活用できないか</p> <p>3 ワークライフバランスについて</p> <p>① 総務省の「女性職員活躍とワークライフバランス推進のための取組計画」では働き方改革、育児・介護等と両立して活躍できるための改革、女性活躍推進のための改革を掲げているが、現在の市内での取り組み状況は</p> <p>② 老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態が「ワークライフバランス」推進の基本的方向であり、本市が推進する「カミーノ」に直結するものと考えている。こうした中、今年9月に女性活躍推進センターが開設となるが、更なる展望は</p> <p>③ ワークライフバランスの取り組みを進めることにより、企業のイメージアップ、優秀な人材確保・定着、従業員の意識向上、業務の効率化が期待できる。県は仕事と家庭の両立支援に取り組む企業・団体を「岐阜県ワークライフバランス推進企業」として登録制度化している。本市における登録状況は</p> <p>4 猛暑での学校や施設の対応について</p> <p>① 全国的な猛暑が続き児童生徒が学校での活動中に熱中症になる恐れがあることから、文科省は都道府県の教育委員会などに対し、必要に応じて夏休みの延長や臨時休業日の設定を検討するように求める通知が出された。今後の本市の対応や考えは</p> <p>② 猛暑が続く毎日、室内にいてもエアコンなしでは過ごすことができない。全国の約半数の公立小中学校ではエアコンなしの教室で子どもと先生が授業の時間を過ごしている。県内のエアコン設置率は67.6%と全国で16位となっている。本市のエアコン設置状況は</p> <p>③ 現在第二次避難所として指定されている各小中学校。近年の自然災害(猛暑も含む)の多さを省みて、避難所として使用されることを想定し体育館にはエアコン設置が必要ではないか</p> <p>5 小規模特認校制度について</p> <p>① 昨年4月から始まった小規模特認校制度だが、この2年間は成果としては満足いくものではないが、この先5年後10年後にこの制度を定着させるためにもやるべきことは</p> <p>② 小規模特認校の三和小学校、伊深小学校に2学期より1人1台のタブレットが貸与され情報教育モデル校としてICT教育を推進される。授業の内容や進め方は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
2	牧田秀憲 真摯会 代表質問 (一問一答)	<p>1 平成29年度決算より</p> <p>① 平成29年度の決算の総括を市長の思いとともに伺う</p> <p>② 公共施設等総合管理計画の基本計画の中で現在の将来負担比率がマイナスの状態であるが、どれくらい見込んでいるか</p> <p>③ 今後増えるであろう歳出で庁舎の建て替えや民生費にかかるお金が増えていく中で、今後も引き続きこの健全財政が維持していけるのか</p> <p>④ 平成31年度予算の編成方針について伺う</p> <p>2 地方創生の取り組みについて</p> <p>① 2017年度総合戦略の中間のK P Iの総点検をふまえて本市における4年目の成果を伺う</p> <p>② 移住定住に向けての取り組みは</p> <p>③ 移住を考えている人が新潟県に注目し実際に移住するまでに至っているのは「PR活動」にあるといわれている。新潟県はネットを活用して移住希望者に必要な情報を提供している。本市の取り組みは</p> <p>3 定住自立圏構想について</p> <p>① 定住自立圏における成果指標（K P I）の設定についてどのようになっているか。今後の進むべき定住自立圏構想は</p> <p>4 今回の断水について</p> <p>① 平成25年4月から供用開始をしている。通常時は可児市、多治見市に水道水を供給し、緊急時には可茂地域と東濃地域に相互融通ができることになっており、なぜその対応がすぐできなかったのか</p> <p>② 市内に浄水機は備蓄倉庫に6台あるが、今回浄水機は使ったのか</p> <p>③ 市内には飲料水になると思われる井戸が現在どのくらいあるのか。また、今後の考えは</p> <p>④ 日本水道協会岐阜県支部への要請をし、他自治体等からどれくらい応援があったか</p> <p>⑤ 他自治体等からの飲料水のペットボトル、給水車の水、職員などの支援に対する手当てはどのようなになっているか</p> <p>⑥ みのかもの水として作られた防災備蓄の水の在庫と今後作る予定は</p> <p>5 市立中学校の部活動について</p> <p>① 「運動部活動の在り方に関する方針」について県は7月に一部改訂されたが当市としてはどのような考えか</p> <p>② 現場教諭の負担を軽減するためにも、外部指導員の活用方法はどのようなになっているか</p>
3	高井厚 新生会 代表質問 (一括質疑)	<p>1 ブラジル国訪問の感想と成果 高橋副市長は7月25日から約一週間、ブラジル国を訪問された。日本とブラジル国の友好親善が深まり、市政運営にも役立つ情報が得られたのではないか</p> <p>① 式典やその後の懇談に出席・参加された、その感想</p> <p>② いくつかの視察先で学ばれたことは何か</p> <p>③ 本市の多文化共生施策や事業の向上に生かせるようなことはあったか</p> <p>④ 今後、本市はブラジル国の企業との連携、人的な交流をどう進めていくのか</p> <p>2 本市の水対策の向上について 今夏は、大雨による断水と高温と降雨不足に悩まされてきた。水の無駄遣いをなくす啓発やその行動化を促し、水の確保方法を多角化するなどの観点から伺う</p> <p>① 市内に大規模な井戸をいくつか掘ることで、河川水に頼る現況を少なくしていけるのではないかと。所見を伺う</p> <p>② 市民や自治会などで新たな井戸を掘る場合は、金銭的助成をしてはどうか。当局の考えを伺う</p> <p>③ 木曾川右岸用水、導水路の維持管理補強工事の進捗状況、今後のパイプライン改築の見通しは</p> <p>④ 6月の断水事案を受けて、各種の苦情や要請が市民から寄せられた。主だったものとその対応</p> <p>⑤ 市として断水に追い込まれたことから、次年度以降の予算化に生かす事柄があれば、その概要</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	高井厚 続き	<p>3 まちづくり協議会事業の展開拡大・充実に向けて 市内の8地区全部に「まちづくり協議会」を立ち上げ、地域の活性化に結びつけようとして本市も着実に手を打ってきている。まだ協議会が発足していない地区が3地区ある状況のなか以下伺う</p> <p>① まちづくり条例を制定することで、まちづくり協議会の役割や働きを明確にできないか。併せて自治会長会を通じた行事との住み分けもできるのではないか</p> <p>② 加茂野町のまちづくり協議会は、一般社団法人格を得て、あまの森の指定管理者としての指定を期待している。人員配置も含め予算計画の概略は</p> <p>③ 本市8地区にまちづくり協議会が立ち上がるよう、どのような働きかけが未設置地区に対しなされているか</p> <p>4 ふるさと納税充当事業の今後 本市の30年度のふるさと納税事業は4億円を5つの領域45事業に活用している。税収の伸びがきちんと見渡せない中、このふるさと納税は大事にしたい制度である</p> <p>① 5つある領域の、納税者の指定順位</p> <p>② ふるさと納税の活用は、特に指定のないケースはどう取り扱っているのか</p> <p>③ 今後に向け、ふるさと納税制度に対する本市の基本的なスタンスを確認したい</p> <p>5 教育振興基本計画の見直しについて 平成26年3月策定の本市の教育振興基本計画は、平成31年度までの6年間となっている。32年度からの新しい教育振興計画策定に向け、よりよい計画が立案されることを願う</p> <p>① F-0プランと教育振興基本計画の両者の関係はどうなっているのか</p> <p>② 10%ほどを占めている外国籍園児・外国籍児童生徒・外国籍労働者への対応面で、新たな取り組みは考えられているのか</p> <p>③ 15年以上続いてきたF-0プランはいつまで継続するのか、他のプランに変更していく予定があるのか</p> <p>④ 新しい教育振興基本計画策定にあたり、重点的に取り上げる領域は何か</p> <p>⑤ 策定委員のメンバー選任の方針は</p> <p>6 農地集積と農業継続問題 三和町川浦地区で、地域の農業を守り、継続していこうと集落営農組織が発足した。農業後継者問題をどう解決していくのか、個別問題としてはならないと思う</p> <p>① 農地利用集積円滑化事業は現在どういう状況にあるのか</p> <p>② 川浦地区の集落営農組織の活動の概略は</p> <p>③ 農業後継者問題解決に向けた本市の今後の取り組みは</p> <p>7 交流人口の拡大を 30年度に入って、人の数の動きが活発になったと感じる。交流人口が増えることで、期待できることが多くなると考え、以下伺う</p> <p>① 由良町、氷見市、東松島市、ダボ市との交流の現状と今後について</p> <p>② 他にも交流先となっている市町村があれば伺う</p> <p>③ 中山道の太田宿界限、伊深の「おきやれ」の人の動きはどうなっているか</p> <p>④ ぎふ清流里山公園の入場者の増加は本市にどうプラスとなっているか</p> <p>⑤ ライン下りが中止になって久しいが、再スタートの動きはあるか今後の方向を伺う</p>
4	日置祥子 日本共産党 美濃加茂 市議団 代表質問 (一問一答)	<p>1 保育について</p> <p>① 公立保育園施設整備計画の進捗状況は</p> <p>② 待機児童数は(3歳児未満・3歳児以上(保育園名))</p> <p>③ 3歳児以上の無償化により需要増の見通しは</p> <p>④ 美濃加茂市の認可保育園ニーズ調査結果に対する見解は</p> <p>⑤ 保育士確保困難の要因は</p> <p>⑥ 保育士の処遇改善の努力は</p> <p>2 介護保険について</p> <p>① 平成30年度介護保険制度の主な改正点は</p> <p>② 生活援助のヘルパーは専門職のヘルパーから緩和された基準のヘルパーに替わるのか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	日置祥子 続き	<p>③ 「介護医療院」は老健施設に設置されているのか（何床あるか）</p> <p>④ 「介護療養型医療施設」との違いは</p> <p>⑤ 市内に障がい者の「65歳問題」の事例はあるか</p> <p>⑥ 「共生型サービス」の創設で人員や施設は担保されているか</p> <p>⑦ 介護保険料について市独自の減免措置は</p> <p>3 学校給食費無料化について</p> <p>① 校納金を小中学校別（小学校低学年高学年別、中学校学年別）に提示を</p> <p>② 厚労省発表の7人に1人の子どもの貧困についての認識は</p> <p>③ 生活保護や就学援助で低所得者をカバーできるか</p> <p>④ 市としてどのような援助ができるか</p> <p>4 騒音・粉塵公害について</p> <p>① 市の居住地域と工業地域の区分、都市計画はどのようになっているか</p> <p>② 美濃加茂市環境基本条例の運用をどのように認識されているか</p> <p>③ 事業所への立ち入り調査は定期的に行われているのか</p> <p>④ 調査項目は何か</p> <p>⑤ 騒音や粉塵についてどのような関係法令があるか。規制値は</p>
5	片桐美良 真摯会 (一問一答)	<p>1 小中学校のプールについて</p> <p>① 今年のプール使用状況は</p> <p>② 現在の各学校プールの使用課題は</p> <p>③ 今後のプール使用方策は</p> <p>2 認知症について</p> <p>① 認知症サポーターの人数は順調に増えているか、現状は</p> <p>② 養成講座を履修された方の受講後の取り組みは</p> <p>③ 認知症初期集中支援チーム、地域支援推進員の配置の取り組み状況は</p> <p>④ 想ひ出カフェの開催状況は</p> <p>⑤ 徘徊行方不明者の早期発見に向けた取り組みは</p> <p>3 多世帯同居について</p> <p>① 高齢者世帯の状況は（独居、夫婦のみ、多世帯同居）</p> <p>② 多世帯同居について考えは</p> <p>③ 多世帯住宅建築への課題についての考えは</p> <p>④ 三世代同居に対応した住宅リフォームの税特例利用者はいたか</p>
6	渡辺義昌 創政会 (一問一答)	<p>1 広域災害の体制について 断水という緊急対応を経験した。市内の一部の断水で終わったが、広域で発生した場合の対応や、南海トラフ地震が叫ばれている中、広域災害に対する備えについて</p> <p>① 市の広域災害に対する備えについて、どのようになっているか</p> <p>② 近隣の市町村、県、国の連携はどうなっているか</p> <p>③ 発事の対応は</p> <p>④ 広域災害に対応できる施設、設備の現状と今後の計画は</p> <p>⑤ 大規模な防災訓練の実施の計画は</p> <p>2 耕作放棄地について 耕作放棄地が、年々増加しており、治水問題や雑草による問題など多くなっている耕作放棄地の実態と対策について</p> <p>① 本市の耕作放棄地はどのくらいあるか（地目別（果樹園も）、地域別にわかれば）</p> <p>② 農業従事者は、専従者や兼業で行っている人など、どの様になっているか。その後継者について把握されているか</p> <p>③ 農地の集積化や農地中間管理機構などの活動はあるか</p> <p>④ 耕作放棄地の増加は、治水能力の低下や雑草の隣地問題など発生する。市として把握しているか</p> <p>⑤ 今後の農業政策や方向性、耕作地の面積確保が必要と思うがどのように考えているか</p> <p>3 中高年引きこもりについて 中高年引きこもりが問題になっている。政府も本年度、実態調査を行うとしている。本市においても相談窓口の充実や社会復帰支援などが必要と考えるが、実態や方向性について</p> <p>① 本市における「中高年世代のひきこもり」の現状、世帯数や人数等の把握はしているか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	渡辺義昌 続き	<p>② 相談窓口や指導は行われているか</p> <p>③ 今後の対応、対策についてどのような考えをもっているか</p> <p>4 牧野ふれあい広場について 牧野ふれあい広場の活用について、県の計画通りメガソーラー発電所が稼働している。現在の牧野ふれあい広場土地交換により市有地となっているが、現在の利用と今後の計画について</p> <p>① 現在の利用状況はどのようになっているか</p> <p>② 管理についてはどのようにしているか</p> <p>③ 現状サッカーの練習やアーチェリーの練習などで利用されるのであれば、もう少し整備し、環境を整えるべきではないか</p> <p>④ 可茂地域には正式な陸上競技場がなく、特に400mトラックを必要とする競技は困っている。建設に向けての計画について</p>
7	山田栄 真摯会 (一問一答)	<p>1 県道207号について 国道21号が本年4月から美濃加茂市御前町～各務原市鵜沼東町の道路管理者が国土交通省から岐阜県に変更となった。これまでも次の4点を含め道路改良、交差点改良等を本市より要望されているが、未整備について今後の要望、将来の見通しについて</p> <p>① 神明堂交差点 5差路の右折整備と歩道設置拡大の考え</p> <p>② 市役所本庁入口、美加と市役所間の横断歩道の右折整備と歩道改良</p> <p>③ 太田小前交差点（太田本町5）不規則な形を整備 小学校入口を含むと5本道路の交差点となる</p> <p>④ 深田町交差点 右折路線整備</p> <p>⑤ 県道207号の当市の交通量、事故発生数について</p> <p>2 坪内逍遙関連事業について</p> <p>① 坪内逍遙大賞の目的と本事業の今後の継続についての考え及び成果をどう評価しているか</p> <p>② 博物館建設についての考え ふるさと納税、クラウドファンディングの活用への考え方は</p> <p>③ 早大博物館との連携の状況及び早大博物館の入館数について</p> <p>3 断水対策について</p> <p>① 公共避難施設に井戸設置の考えは</p> <p>② 民間による有事対応としての井戸掘り等に対する補助制度設置の考えは</p>
8	村瀬正樹 新生会 (一括質疑)	<p>1 木曾川3公園の豪雨被害について</p> <p>① 中之島公園の浸水域をどう想定しているか</p> <p>② 3公園の所有者、管理者、復旧費負担者の関係は</p> <p>③ 今回の修理復旧費の額と財源は</p> <p>④ 中之島公園護岸全般の強度化を進める考えは</p> <p>2 小中学校水泳授業のあり方について</p> <p>① この夏、小学校の水泳授業や夏休みプール開放はどれくらいできたか</p> <p>② 小中プール設備はいつまで維持できるか</p> <p>③ 小学校学習指導要領にある「水泳場がない場合は、現場で水遊び、水泳運動をしなくてもよいが、安全の心得は必ず取り上げよ。」についての見解は</p> <p>④ プールの有無がある3中学の水泳授業の現状と今後について</p> <p>3 犬猫のふん害による小学校砂場の不使用について</p> <p>① 教育委員会のとらえ方と改善策は</p> <p>② 環境課の学校も含めた一般的なふん害防止策は</p>
9	柘植宏一 新流 (一問一答)	<p>1 まちづくり協議会と小規模多機能自治について いじめ、不登校、引きこもり、児童虐待などの青少年健全育成に関わる教育問題、認知症による徘徊、老老介護、孤独死、独居高齢者の見守りや生活支援などの介護に関わる問題、高齢化による医療費増大を抑制するための医療健康問題、地震、豪雨、火災、特殊詐欺、児童連れ去りなど防災防犯問題など、様々な課題を解決するための地域力が問われている</p> <p>① 美濃加茂市のまちづくり協議会と、いわゆる「小規模多機能自治」との相違点は何か</p> <p>② まちづくり協議会の位置づけを規定する自治基本条例を制定すべきと考えるがどうか</p> <p>2 新庁舎整備における候補地決定について 8月2日、未来のまちづくり委員会の第1回会議が開催された。立地適正化計画と新庁舎整備基本計画についての議論が行われる</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	柘植宏一 続き	① 新庁舎の候補地については、12月末までには選定したい旨が市長から表明されているが、候補地選定に関するコンサルによる調査情報はどのような内容か。また候補地選定に関し未来のまちづくり委員会はどのような役割を果たすか ② 候補地選定において、中心市街地活性化の視点も重要と考えるがそれは担保されているか 3 災害・緊急時の情報伝達について 6月末の断水においては、災害・緊急時の情報伝達機能の脆弱性が改めて問題提起された。地震や豪雨だけでなく、異常気象による酷暑、豪雪、また黄熱病などの感染症パンデミックの可能性など、将来予想される災害緊急時において、正確且つ確実な情報伝達の必要性が増している ① 断水時の情報伝達において、どのような課題があったと認識しているか ② すぐメール美濃加茂を含めたSNSと、住民相互の電話や対面による情報伝達を組み合わせ、デジタル・アナログ融合の緊急時情報伝達ネットワークの構築が有効と考えるがどうか
10	前田孝 日本共産党 美濃加茂 市議団 (一問一答)	1 6月29日の断水問題について ① 森山浄水場の取水を止めた理由は ② 古井・太田・下米田・牧野地区のみ断水になった理由は ③ 森山浄水場と山之上浄水場との配水管の連結はどのようになっているのか ④ 今後どのような改修が必要か ⑤ 断水発生時での市民への情報伝達はどのような手段でやったのか ⑥ 給水所に行くことが出来ない市民への対応策は ⑦ 災害時使用可能な井戸の実態調査とマップ化についての見解 ⑧ 配水池の増設と貯水槽の設置についての見解 2 災害時情報伝達体制確立事業について ① 各地区への防災ラジオ貸与の状況は ② 6.29断水について、防災ラジオからの情報発信は行われたのか ③ どのような場合に防災ラジオでの情報発信が行われるのか ④ 防災ラジオ貸与について貸与資格基準の変更は 3 地域猫(飼い主不明猫)の現状と問題点 ① 本市における地域猫の現状と環境に及ぼす影響など把握されているか ② 地域猫に対する問題点などの解決策についての見解は ③ 動物の愛護及び管理に関する法律があるが、本市は地域猫管理等に関する条例の制定等についてはどのような見解か
11	金井文敏 市議会 公明党 (一問一答)	1 防災無線の難聴対策 ① すぐメールみのかも登録推進 すぐメールみのかもの登録状況は1万件程度であるが防災無線の難聴対策としては有効であるため推進する必要がある I 案内チラシの配布 II 登録設定窓口の設置 ② テレホンサービスの活用 テレホンサービスは聞き逃した情報などを後から聞く方法として市民に十分周知する必要がある I 案内チラシの配布 II シールの配布 III フリーダイヤル化 IV ホームページで案内強化 ③ 防災ラジオの活用 高額な防災ラジオも災害時の情報伝達手段としては有効である。今後の研究課題として取り組む必要があるのではないか I 独自システムの検討 II 補助金を出して有償支給の検討 2 児童の側に立った学校給食のアレルギー対策 ① 学校での食物アレルギーの現状 I 食物アレルギーの種類と割合 II 児童数 III エビペンの使用

No.	議員名	質 問 要 旨
	金井文敏 続き	② 食物アレルギー対応委員会の状況 I 設置 II 委員 ③ 献立の作成と検討 I 食物アレルギー対応基本方針 II 安全な学校給食提供の考え方 3 聴覚障がい者への行政サービス ① 障がい者への対応 行政相談等窓口や在宅での対応について、職員が適切に対応するためには必要な要領を定める必要がある I 現状 ② 窓口での対応 I 手話 II 筆談 ③ 在宅での対応 I メール II ファックス 4 西中学校の通学区域について ① 通学区域の今後の予定 I 今年のスケジュール II 来年度からのスケジュール
12	渡辺孝男 真摯会 (一問一答)	1 同報無線放送について ① 西日本豪雨災害等「同報無線」が雨音で聞き取りにくい等の問題が出されているが、本市も同様な問題があり対応が必要であるが本市の考えは ② 今回、大雨警報等で学校が休みになったが同報無線が流れないため、見守りのおじさん・おばさんは見守りに来たが子どもが来ないので帰られた方も見えたが、同報無線での情報等、今後市としてこのような人に対して情報伝達をどのように進めるか ③ 火災の緊急放送が流れるが、人の声でないために聞き取りにくいとの声を聞くが、以前のように人の声のように聞き取りやすくする対応策はないか 2 市内の農業用ため池の安全性について ① 西日本豪雨で農業用ため池が崩壊し大きな被害が発生したが、類似災害を防ぐため、本市にあるため池で下流に民家がある所は何カ所か。また、安全確認も必要と思うが市として実施したか ② 本市には、ため池ハザードマップが作成されているが、年々住民の危機感が希薄化していると思う。今回の災害で地域住民の安全対策として再度説明が必要と思うが市の考えは 3 子どものランドセルの重さ対策について ① 猛暑の中、約7kgの重いランドセルを背負って通学し背中が汗でびしょりの児童もいる。他市では子どもの負担を考え、1・2年生の児童は教科書を学校に置いて行くところもあるが教育委員会としての考えは 4 感震ブレーカー設置について ① 震災後停電が復旧し、通電が再開される際に発生する「通電火災」を未然に防ぐのが感震ブレーカーである。ある市では木材を多く使用している文化財、市役所などに設置し、市民に感震ブレーカーの認知度向上策をされているが、本市の状況はどうか
13	坂井知足 創政会 (一問一答)	1 市議会議員選挙について ① 18歳・19歳の投票率の向上 公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたが、これまでの国政選挙では50%を切る低投票率であった。本市の投票率と今年9月30日には市議会議員選挙が行われるが、投票率向上に向けた取り組みについては ② 共通投票所の設置 同じく公職選挙法の改正により、投票日に駅や商業施設など利便性の高い場所で投票できる「共通投票所」が設置できることになっている。平成28年第3回定例会一般質問では投票率の向上に期待できる制度として検討すると答弁されている。その検討結果は

No.	議員名	質 問 要 旨
	坂井知足 続き	<p>2 市民の安全対策について</p> <p>① 防災行政無線等の活用 市民への情報伝達手段として防災行政無線が設置され、現在では日本語ほかポルトガル語、英語などにより、市民の安全が守られている。この取扱い基準と今後の対応については。また、メール配信サービスとの関連は</p> <p>② ため池の整備 異常気象による豪雨により、ため池の決壊が相次いでおり、7月には広島で決壊により保育園児が亡くなっている。南海トラフの心配もあり、本市の管理体制と安全性については</p> <p>③ 河川改修の推進 近年、全国各地で豪雨による河川の決壊があり、大きな被害が発生している。本市には一級・準用・普通河川等が多くあり、それぞれ国、県、市で管理しているが、その改修の現状と安全性については</p> <p>④ ブロック塀等危険箇所の点検 大阪府北部地震で女兒が死亡した事故を受け、県内の市町村では民間施設のブロック塀の安全点検をしているが、本市の点検結果はどうであったか。また、先に行われた小・中学校の緊急点検の結果と対応については</p> <p>3 教育の向上について</p> <p>① 学力テストの結果と対策 今年7月、平成30年度全国学力テストの結果が公表された。本市の児童・生徒の結果とその分析、今後の対応等については</p> <p>② 体力テストの結果と対策 今年2月に平成29年度の全国体力・運動能力調査の結果が公表されているが、本市の児童・生徒の結果とその分析、今後の対応等については</p> <p>4 民法改正による成人年齢について</p> <p>① 成人年齢の引き下げによる行政対応 今年6月に成人年齢の引き下げを主な内容とする民法の改正が行われ、4年後から成人年齢が18歳となる。現在の中学生から対象となることや、若者の積極的な社会参加を促す狙いもあることから、これらに対する行政としての取り組みは</p>
14	森弓子 新生会 (一問一答)	<p>1 下米田・牧野地区の断水について</p> <p>① 森山浄水場の浄水力アップ</p> <p>② 下米田貯水タンクの容量の適正化</p> <p>I 3日分の対応力</p> <p>II 県水からの対応を</p> <p>③ 断水時の飲料水以外の水の問題</p> <p>I トイレの水問題</p> <p>II 井戸水の利用（登録・利用）</p> <p>III 木曾川の水利権の利用</p> <p>④ ボランティア体制の構築</p> <p>⑤ 独居・高齢者の問題</p> <p>I 飲料水の配布本数</p> <p>II 把握・見回り体制は</p> <p>⑥ 情報公開</p> <p>I 濁度公開 どれほどの濁度値で取水停止になるのか</p> <p>II 貯水タンクの水の残量</p> <p>III 同報無線が聞きにくい</p> <p>IV ホームページで公開を</p> <p>V 見通しを示す</p> <p>2 子どもの居場所づくり</p> <p>① 2020年ねんりんピックに向けて、子どもの将棋教室を</p> <p>② 地域社協、まち協との連携</p> <p>③ 多様な居場所づくりの今後の取り組み</p> <p>3 牧野交流センターについて</p> <p>① 空調機の修繕</p> <p>② 調理室の増設</p> <p>③ 受水槽の設置</p> <p>4 下米田保育園について</p> <p>① 土地の確保について</p>